

## 9月定例会開催される

9月定例会が9月2日から9月27日まで開催され、慎重審議の結果、一般会計決算は認定、その他の議案は原案の通り可決されました。主な内容は次のとおりです。

### 伊香保行政センターを移転

伊香保行政センターは老朽化していることもあり、伊香保公民館別館1階に10月3日に移転しました。旧庁舎については来年度に解体を予定しています。

跡地の利用については庁内検討委員会で調整することになります。

### 市有墓地の利用者から管理料を徴収

伊香保地区にある市有墓地は共有部分の維持管理（駐車場、トイレ、道路清掃など）の経費として、90万円が必要でした。今回の条例改正により、墓所1区画につき年額1200円を管理料として徴収するものです。

現在、7855区画の内、7433区画が使用されています。

### 小野上地区に環境学習多目的施設を設置

環境学習多目的施設は、市民の環境への意識の向上を図るとともに、限りある資源を循環できる社会への転換を資することを目的とし、小野子地区内四方木に設置します。（平成29年2月開設）



建設中の環境学習多目的施設



渋川市議会議員  
しのだ 徳寿

〔後援会事務所〕  
大同特殊鋼（株）渋川工場労働組合内  
TEL 0279-23-5198  
FAX 0279-24-3820  
ホームページ  
<http://geo.t-shinochan55.com/>  
篠田徳寿でも検索できます。

### 総合病院跡地利用施設整備予算

総合病院跡地利用施設整備事業は、福祉専門学校分として、空調機器設備工事・空調配管設備工事等で1億1266万6000円です。

子育て支援拠点施設整備事業は、子育て支援センター等各棟内外装改修工事、電気設備改修工事、機械設備改修工事等、及び施設用備品等で4億2153万5000円です。財源については、子育て支援拠点施設整備事業債（3億1200万円）を発行します。

病院清算事業は、撤去工事（看板、煙突、ボイラー、冷凍機・冷却塔、地下タンク）で1億2万1000円です。3つの事業の合計は、5億3582万2000円となります。

### 渋川総合公園施設改修計画

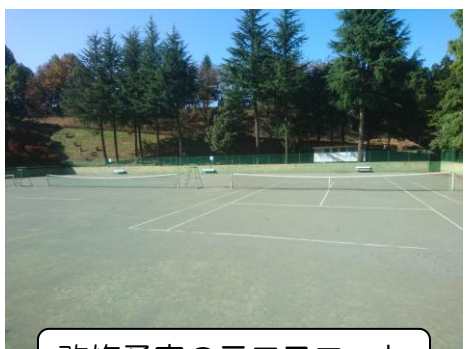
渋川市公園施設長寿命化計画に基づき、渋川市総合公園陸上競技場においては、平成28年度から平成30年度までの3力年で改修を行うものです。主な改修は、トラックのラインを6レーンから8レーンに、各種跳躍場および投てき場の改修、メインスタンドの改修などで、改修費は3力年の合計で8億8052万6000円となります。

テニスコートの改修については、現状は、人工芝コート（砂入り）3面、クレーコート9面ですが、クレーコート9面については、平成31年度、32年度に砂入り人工芝に改修予定です。

体育館内のシャワーについては、平成34年度、35年度の体育館耐震補強工事に併せ、改修を予定しています。



改修中の総合公園陸上競技場



改修予定のテニスコート

### （仮称）東部学校給食共同調理場の整備

学校給食共同調理場の再編整備については、南部学校給食共同調理場、北部学校給食共同調理場の2施設が完成し、平成26年8月から稼働しています。

一方、赤城学校給食共同調理場は、建設から27年経過しており、施設設備の老朽化が進んでいます。また、自校方式である北橋地区の3校は、建設から35年以上経過しており施設設備とも老朽化しています。

このようなことから、（仮称）東部学校給食調理場を建設し、平成32年の2学期からの稼働を予定しています。概算事業費は、11億2000万円です。

## JR八木原駅自由通路は長期的整備に変更

JR八木原駅の橋上駅化を長期的整備、自由通路を短期的整備として、JR東日本株式会社高崎支社との協議を進めてきましたが、その中で、自由通路の整備に当たっては、橋上駅舎と一体的に整備する必要があるとの見解が示されたことから長期的整備（5年後）に位置づけるものです。

橋上駅舎と自由通路の一体整備を進める場合、事業費の大半を起債に頼らなければならず、短期的整備では今後の財政運営に大きな影響が出る懸念されます。一方、JR八木原駅周辺整備を含めた立地適正化計画を新たに策定し、それに基づいて橋上駅舎と自由通路を整備することとした場合、社会資本整備総合交付金を有利に活用することが見込めます。

駅東の進入道路や駅東ロータリー等の整備は、計画どおり短期的整備として実施していきます。駅前ロータリー整備（西側バスロータリー）、駅前駐車場整備（西側）、主要道路の整備については、長期的整備となります。



JR八木原駅西



JR八木原駅東

## 茨川市民ゴルフ場跡地利用基本方針

茨川市民ゴルフ場の閉鎖（平成28年11月末を予定）により、その跡地を市が承継するにあたり、約24ヘクタールの広大な敷地の活用を計画的に行うため、基本方針を定めるものです。

跡地利用については、あらゆる世代が親しめる憩いの施設を目指し、市民参加による検討委員会を設置したうえで、各種団体等の意見、要望を聴取し、整備内容を検討することになります。

検討結果に基づいた本格的な活用を行うまでの間は、大幅な造成等を行わず、現状の景観を可能な限り活かした「暫定的活用」を行うこととします。暫定的活用の期間では、クラブハウス棟及び駐車場を拠点として、跡地を南北に半分に分けて北側（関越道北側）を中心に市民に開放し、利用状況を検証しながら拡大を図ります。

暫定的活用の間は、必要最低限の整備にとどめ、利用区域における安全対策、現状の景観と施設の維持管理に要する経費のみを見込むため、使用料は無料とします。

今後の予定としては、平成33年～34年度に造成工事、平成35年度以降に本格的な活用を開始する予定です。

## 平成27年度決算の状況

### 一般会計決算額

- ・ 歳入：398億938万660円
- ・ 歳出：373億7521万4064円
- ・ 不納欠損額：1億1496万8000円

市税の状況（市民税・固定資産税・軽自動車税・市たばこ

税・特別土地保有税・入湯税・都市計画税）

- ・ 収入済額：108億4305万4000円
- ・ 収入未済額：8億6305万5000円
- ・ 不納欠損額：9795万8000円

\* 一般会計の実質収支額は22億8605万3000円で、これから前年度の実質収支額15億2672万9000円を差し引いた単年度収支額は、7億5932万4000円の黒字です。これに財政調整基金への積立金206万7000円と基金からの取り崩し額6億2405万8000円を加減した実質単年度収支額は、1億3733万3000円の黒字です。（前年度の赤字額23億1777万5000円に比べ大幅に好転）

### 財政分析指標の状況（普通会計）

- ・ 財政力指数：0.62
- ・ 経常収支比率：86.7%
- ・ 公債費負担比率：11.8%
- ・ 実質公債費比率：6.6%
- ・ 基礎的財政収支（プライマリーバランス）は、3億6691万1000円のマイナス

### 普通会計貸借対照表の概要

- ・ 資産の総額：1543億4854万2000円
- （市民一人当たり：約192万円）
- ・ 負債の総額：453億8480万8000円
- （市民一人当たり：56万4000円）

### 市債の状況

- ・ 普通会計未償還残高：388億3848万円（65%+）
- ・ 特別会計未償還残高：285億2987万円（10%）
- ・ 未償還残高の合計：673億6835万7000円
- （市民一人当たり：83万6000円、3万3000円増）

### 特別会計決算状況

- ・ 歳入：248億1204万8000円
- ・ 歳出：244億9054万円
- ・ 一般会計からの繰入：34億6908万9000円
- ・ 一般会計への繰出し：387万3000円
- ・ 不納欠損額：1億5887万5000円
- ・ 病院事業会計未処理欠損金：12億4088万8000円
- （企業債については、未償還残高が10億1794万6000円であり、今後は一般会計から返済）

\* 特別会計の実質収支額は2億8480万円で、これから前年度の実質収支額4億1632万2000円を差し引いた単年度収支額は、1億3152万2000円の赤字です。これに基金への積立金35万5000円と基金からの取り崩し額151万4000円を加減した実質単年度収支額は、1億3268万1000円の赤字です。（前年度の赤字額1億7596万5000円に比べ好転）